

日本服薬支援研究会 web 講演会

「内服薬嚥下障害」を考える金曜日 4 回シリーズ

第 3 回 看護師、歯科医師が経験する 内服薬嚥下障害の現状

日 時: 8 月 14 日(金) 19:00~20:30

主 催: 日本服薬支援研究会、連携: J-HOP

参加申込: <https://fukuyaku-event20260814.peatix.com>

締 切: 定員 100 名になり次第または 8 月 7 日(金)

参 加 費: 日本服薬支援研究会会員・賛助会員 1000 円、
J-HOP 会員 1500 円、非会員 2000 円

(参加申込者のご都合でキャンセルの場合は、参加費の返却はできません)

講 演: ① 看護師が経験する内服薬嚥下障害の現状

19:00~19:45

Nurse Innovation 株式会社 代表取締役

臨床栄養代謝専門療法士 朝倉之基 先生

内服薬の投薬は看護師の役割として重要である。通常であれば口腔内へ薬剤を投与することで内服したという錯覚に陥りがちだが、実際は上顎に張り付いたり、頬の裏に残っていたりすることがしばしばある。また嚥下機能の低下により口腔内に残留する時間が長くなってしまい崩壊した薬剤が口腔内や口唇にこびりついているということも少なくない。適切な投薬は適切な治療に欠かせないものである。投薬の最終実施者としてどのように内服薬がしっかりと投薬できるかは重要な課題である。

② 歯科医師が経験する内服薬嚥下障害の現状

19:45~20:30

日本大学松戸歯学部 口腔外科学

教授 石井良昌 先生

内服薬嚥下障害は、高齢化の進展に伴い歯科診療でも遭遇する機会が増えているが、その実態は十分に認識されていない。本講演では、歯科医師の視点から内服薬嚥下障害の現状を、口腔機能および摂食嚥下機能との関連を踏まえて概説する。さらに、「口から食べる・飲む」を支える歯科医師の役割と、医師・薬剤師・言語聴覚士等との多職種連携による課題解決について、臨床例を交えて紹介する。

研修認定: 日本薬剤師研修センター研修認定 1 単位 (申請中)

日病薬病院薬学認定薬剤師 V-3 1 単位 (申請中)

の何れかを付与

<問合せ先> 日本服薬支援研究会 E-mail: fukuyaku.event@gmail.com

日本服薬支援研究会 web 講演会
「内服薬嚥下障害」を考える金曜日 4 回シリーズ

< 予 告 >

第 4 回 9 月 18 日(金)

内服薬嚥下障害への取り組み実例

講演：① 口から薬を飲むための簡易懸濁法

神奈川歯科大学歯学部 薬剤部 白鳥千穂 先生

歯科領域では嚥下障害で内服薬の飲み込みに難渋している患者の他、突如発生する器質的嚥下障害に対し薬剤の服用方法を調整する必要がある。内服の継続のために重要な位置付けである簡易懸濁法の導入、継続した服薬支援のために必要な連携や問題点も含めてお伝えする。

② 内服薬嚥下障害への取り組み実例

公益社団法人 地域医療振興協会

台東区立台東病院・老人保健施設「千束」

医療技術部長 兼 薬剤室長 鈴木慶介 先生

服薬フォローアップが求められる中、病棟や介護現場、在宅等では今も錠剤の粉碎や脱カプセルが行われ、徐放性製剤などの不適切粉碎が問題となっている。介助者の善意による対応が事故につながることもある。ここでは、薬剤師の製剤学的知識と服薬介助者の情報を共有し、多職種で粉碎不適薬剤の回避（処方の見直し）に取り組んだ事例を紹介する。

参加申込は、7 月中旬から Peatix で受付致します。日本服薬支援研究会メンバーリスト、HP でご案内致します。